

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3		テナントの面積上、どうしても狭くなっていますが、パーティションの使用、ブースの割り振りなど極力工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	2		本年度は指導員の産休等で人員基準を満たすもののギリギリの運営となり、様々点で不備がありました。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションが倒れやすいため、特に気をつけています。 ・バリアフリーが難しい環境の為、階段の上り下りの際、指導員が付き添う、ベビーカーの運搬をする等出来る限りの対応をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			・管理者が PD までを行い全員で CA を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			・毎年事業所評価を行い、その結果を共有し上記 PDCA に反映しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3		・毎年公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	3	・第三者ではありませんが、社内での内部監査を毎年行っています。・第三者ではありませんが、社内での内部監査を毎年行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2		・外部での研修の機会は少ないですが、臨床心理士の管理者/児発管が適宜スーパーバイズを行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		・認知発達、適応行動、発達特性の3つの軸でアセスメントを行い、課題設定をし、トップダウンで支援を実施しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			・必要に応じて Vineland-II 適応行動尺度を使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2		児発管がニーズの聞き取り、アセスメント、課題設定を一括して行い、トップダウンで周知し、内容に問題があれば児発管に差し戻す形で支援を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		・発達段階に応じて工夫しています。また定着を図るために同じ課題を繰り返す事はどうしても起きてしまいます。玩具等はマンネリ化してしまうため、新しいものを購入していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2		毎日の生活をスムーズ送るために、認知発達の促進、適応行動の獲得、特性の緩和を主に行っています。そのため、日によって活動内容を変えようという視点での支援ではありません。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2	1	昨年度は小集団を実施出来ませんでした が、今年度は中学年、高学年でほぼ毎月の実施が出来ました。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		・児発管より指示書を出す、前担当者より引き継ぎ等を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4		・その日に行いえない事もありますが、その際は別日に情報共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			客観的な記録を取るために、専用のフォーマットにて課題の正答率等を記録しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・法令に基づき半年毎に必ず見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	1		ガイドラインに記載のある、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性をメインに個別支援を行い、関係機関への訪問、連携も行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			・児発管が参加し指導員に情報共有を行っています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1		・必要に応じて関係機関等への訪問と、情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5		・該当者がいないため評価不能です。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			・必要に応じて関係機関連携や情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4		1	同上
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		同上
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	4	・個別支援のため、左記の様な機会はありません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		3	2	10月に療育センター主催の連絡会がありそれに参加しました。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		・個別支援計画と毎回の支援のフィードバック時に行っています。

	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2		ペアトレという形では行っていませんが適宜お子さまとの関わり方等をお伝えしています。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に重要事項説明書にてお伝えしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			・必要に応じておこなっています。いつでもお気軽にお申し付けください。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	2	保護者同士の連携については、非常にデリケートな側面があるため、敢えて行っていません。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			・ご相談や申し入れについては、その都度対応させて頂いております。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	1	・支援の準備や振り返りに時間が必要なため、これらの作成は見送ってきました。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	5			・個人情報に当たる情報や支援をする上で知りえたエピソード等で保護者様の許可を得たものを除いては、一切外部に持ち出していません。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		・意思疎通を図るためにも言語・コミュニケーションの支援を行っています。また必要に応じて面談の機会を設けています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	2	・地域住民の招待等は個人情報の観点から今後も予定していません。しかし、関係機関の見学等は毎年受け入れを行っています。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	1	・各種マニュアルは完備し一部を掲示しています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		1	4	・個別支援のため利用者参加の訓練は行っていませんが、避難経路や避難先の把握等は適宜行っています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		社内で虐待防止委員会を設立し、指導員が参加しています。また虐待防止チェックリスト等も適宜使用して児発管より研修を行っています。加えて不適切な支援が無いかな全件聞き取り調査等を行いました。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			・重要事項説明書と個別支援計画にて説明を行っています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4		・食事対応等を行っていないため評価不能です。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		毎月必ず1件以上、ヒヤリハットやそれに準ずる記録を残し、事故防止に活用しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校

保護者等数（児童数）：36件 回収数：26 割合：72%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	8		・もう少し広い方がいい⇒今年度は職員も増えた関係で、例年よりも手狭になってしまいました。駅から5分圏内で引っ越し先を探していますが2年以上空きが見つからない状況です。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	26			本年度は産休等で人員基準は満たすものの人員不足となり様々な面でご迷惑をおかけしました。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	6	6	建物の共有部分なので難しいと思っています。 ハード面の変更はどうしても難しいですが、階段の上り下りの付き添い、ベビーカーの運搬等はお手伝いしておりますので、お気軽にお申し付けください。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	26			定期的な見直し以外でもニーズに応じて見直しを行いますので、必要な際はお声がけください。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	26			・課題は定着を図るために、同じものを繰り返してしまう事がありますが、その中でもイラストを変える変化をつけていきたいと思っています。また玩具等は買い足していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	14	10	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26			・支援の内容についてはフィードバック時に、利用者負担等は契約時に重要事項説明書等で説明しております。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26			・支援後に必ず保護者様と情報共有を行っております。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	2		今年度は面談が例年よりも行えませんでした。心より申し訳なく思っております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	9	9	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	6		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26			・保護者様とは毎回の支援でお話をさせて頂いています。お子さまに対しては意思疎通を図るためにも言語面での支援等を行っております。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	6	1	自己評価につきましてはHPにて公開しております。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	26			・個人情報に当たる情報や支援をする上で知りえたエピソード等で保護者様の許可を得たものを除いては、一切外部に持ち出していません。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	2		・各種マニュアルはありますが、周知・説明は足りていませんでした。また個別支援という特性上、お子さまが参加する形での訓練は行っておりませんでした。来年度は各種マニュアルの周知を再度行い、訓練の参加についてはニーズをヒアリングしていきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	8	4	個別支援という形式上、お子さまが参加する機会は少ないですが、職員は月に1度、地震、水害、火災等を想定し防災訓練を行っております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	24	2		苦手な事をするのでどちらともいえない⇒子どもの間は得意な事だけを伸ばすよりも苦手な事にアプローチした方がよいのですが、それでも出来る限りお子さまには「できた」「わかった」だから「楽しい」という気持ちになってもらえるよう工夫をしております。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	26			・皆様に満足して頂けるよう、職員一同研鑽に励んでいきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。